



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-20-3
事業名 湊公園津波避難路拡幅事業
事業費 総額 25,877 千円 (内訳: 用地費 3,121 千円、設計費 5,853 千円、工事費 16,903 千円)
事業期間 平成 26 年度～平成 27 年度
事業目的・事業地区 津波避難計画策定事業により、津波避難計画を策定し、津波到達時間内における避難シミュレーションを実施するとともに、被災地区住民の避難経路の再設定を行った。 その結果、那珂湊地区の一部の避難路においてボトルネックが生じ、津波到達時間内での避難を極めて困難とすることが判明したため、当該避難路の拡幅工事を実施することによりボトルネックを解消し、那珂湊地区の高台（湊公園）への、迅速かつ円滑な避難経路を確保する。
事業結果 工事延長 L=50.7m 避難路幅員 W=3.4m 擁壁工（L型擁壁工） L=13m 雨水排水設備工（U型側溝工） L=22m 園路広場工（階段工） N=62 段 管理施設工（手すり工） L=44m 【整備前】  【整備後】 
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業において拡幅工事を行った避難路は、主に周辺住民や那珂湊おさかな市場への来訪客の避難に用いられる予定だが、来訪客数の多い休日に最大クラスの津波が発生するという最悪のシチュエーションを想定した場合、事業実施前は約 500 名の逃げ遅れが発生すると算定された。本事業を実施したことにより、シミュレーション上では正しい避難行動を行った場合逃げ遅れる人がなくなったため、今後の津波被害の軽減につながるものとする。 ② コストに関する調査・分析・評価 本事業は、当初、スロープ形式の避難路の計画としていたが、地元との調整の結果、

整備延長が短くより安価な階段形式による整備に理解を得られたことから計画を変更し、コストの縮減につながった。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	当初想定	実績
設計	平成 26 年度	平成 26 年度～平成 27 年度
用地買収	平成 27 年度	平成 27 年度
工事	平成 27 年度	平成 27 年度

設計段階において避難路用地の境界の確定に時間を要したため、工期を変更し、平成 27 年 5 月に設計が完了した。その後は用地買収、工事ともに滞りなく行い、想定した期間どおりに事業を完了したため、事業手法は適正であったと考える。

事業担当部局

ひたちなか市都市整備部都市計画課 工務係 電話番号：029-273-0111（内線 1363）